

平成30年度 奈良先端科学技術大学院大学 同窓会総会

日 時 : 平成30年11月11日(日) 10時30分～

場 所 : 奈良先端科学技術大学院大学 事務局棟2階 大会議室

議 題

1. 理事挨拶
2. 前回総会の議事要旨確認 【資料1】
3. 審議事項
 - ・会計監査について 【資料2】
 - ・役員交代について 【資料3】
4. その他
 - ・同窓会活動の活性化について 【資料5】

配付資料

- ・平成30年度奈良先端科学技術大学院大学同窓会総会(第1回)議事要旨 【資料1】
- ・会計監査結果報告書・収支報告書 【資料2】
- ・次期役員(案) 【資料3】
- ・現役員 【資料4】
- ・同窓会活動の活性化について 【資料5】
- ・奈良先端科学技術大学院大学同窓会について(経緯) 【資料6】
- ・奈良先端科学技術大学院大学同窓会会則 【資料7】

平成30年度奈良先端科学技術大学院大学 同窓会総会（第1回）議事要旨（案）

日 時 : 平成30年5月19日（土） 14時10分～14時50分

場 所 : 事務局棟2階 大会議室

出席者 : (本会役員)

駒井 章治 会長[新 顧問] (バ 休・H11 年度修了)

清川 清 副会長[新 会長] (情報・H10 年度修了)

小林 未明 [新 副会長] (バ 休・H10 年度修了)

井上 明久 [新 副会長] (物質・H11 年度修了)

神原 誠之 理事 (情報・H13 年度修了)

秋貞 盛人 [新 理事] (バ 休・H12 年度修了)

石河 泰明 監査 (物質・H14 年度修了)

垣内 喜代三 顧問 (理事・副学長)

陪 席 : 松山教育支援課長 宮本教育支援課課長補佐 秋津学生支援係長

議 事 :

議事に先立ち、駒井会長から、挨拶が行われた。

(前回議事要旨の確認)

1. 前回理事会の議事要旨の確認

駒井会長から、配付資料2に基づき、平成29年11月12日（日）に開催された同窓会総会の議事要旨について確認が行われた。

(審議事項)

1. 役員交代について

駒井会長から、配付資料3に基づき、本会の役員交代について説明があり、審議の結果、原案どおり承認された。

本件の承認を踏まえ、以降の議事の進行は清川会長が務めることとなった。

引き続き、出席した新役員の自己紹介が行われ、駒井前会長からは以下の点についての申し送りが行われた。

[前会長からの申し送り]

- ・同窓生のための同窓会として発展させていっていただきたい。在任時は活躍している修了生への同窓会栄誉賞や駅伝大会（吉川杯）での同窓会賞を設けたり、同窓会会長として入学式・学位記授与式に臨席したりした。

- ・会費の適正管理に努めていただきたい。会費を納入している会員とそうでない会員がいるのでその取扱いについても留意すること。

- ・会員情報管理、資金管理、Web ページ管理などを担当する同窓会事務局の立上げが必要であると考えている。

- ・国際化へも対応していただきたい。具体的にはインドネシアの同窓会組織との連携が考えられる。

2. 同窓会活動の活性化について

清川会長から、同窓会活動の活性化に向けて、同窓会の現状報告、活性化の方向性及びホームカミングデーについての説明が行われた。

引き続き、出席者からは他大学等の同窓会の状況についての説明、及び垣内顧問からは大阪大学の同窓会 Web ページの紹介が行われ、種々意見交換が行われた。

[現状報告]

- ・役員交代に伴い同窓会役員間で使用している連絡用メーリングリストの更新を行う。
- ・NAIST ネット（終身メールアドレスサービス）登録状況から現状は 32%の組織率とみなせる。ただし、大学全体の同窓会としての同窓会名簿が整備できていない状況である。
- ・会費を原資とする運営予算は 700 万円弱である。
- ・同窓会としての事務局がなく大学の事務局に事務支援を頼っている状況である。

[活性化の方向性]

- ・同窓会の運営支援体制や名簿整備については、同窓会支援業者へのアウトソーシングを中心に検討を進めていきたい。クラウドなどのシステムで管理され、情報管理や会費徴収などが可能である。業者へのヒアリングなども含め7月中旬にたたき台を作り9月頃までに内容を詰めていき、11月の同窓会総会でアウトソーシングへの承認を得るスケジュール感で動きたい。
- ・会費の徴収についても再開したいと考えており、会費の設定額の見直しも含め11月の同窓会総会で承認を得たいと考えている。

[ホームカミングデー]

- ・11月11日のオープンキャンパスにあわせてホームカミングデーを開催予定であり、7月中旬にたたき台を作るスケジュールで検討を進めたい。

[他大学等の同窓会の状況]

- ・京都工芸繊維大学では毎年往復はがきやパンフレットが送られてくる。
- ・バイオでは1期生から順に同窓会幹事を持ち回りで後年度につなぐやり方で開催しているが、たいてい4期生ぐらいでうやむやになり、また、1期生の方が声をあげて再開するといった形で同窓会活動が続けられているのが実情である。
- ・大阪大学の同窓会の事例 ⇒ 垣内顧問による紹介

(その他)

- ・その他、本会の運営等について、種々意見交換を行った。

(主な意見等)

- ・大学全体の同窓会としては、大学全体以外の同窓会、つまり領域や研究室の同窓会の開催も積極的に支援していく必要があるし、できることからその姿勢を見せていくことが大学全体の同窓会の活性化につながると考える。⇒ 6/2の物質領域の同窓会の開催案内を大学全体の同窓会メーリングリストでも案内することになった。
- ・同窓会と聞くと会費の無心を想起するので、ネーミングを変えてはどうか。例えば、高山会など。（慶応義塾大学同窓会組織は「三田会」という名称であるので、そういったイメージ）

- ・本日欠席の上岡理事は、平成 25 年度修了の若手で現在、東京で仕事をしている。若手で遠隔での仕事を持ちながらも同窓会活動に携われるよう、例えばスカイプなどの遠隔通信技術を用いて理事会を行うといったことも導入する必要があるのではないかと。

以上

平成30年11月8日

会計監査結果報告書

奈良先端科学技術大学院大学同窓会 監査
奈良先端科学技術大学院大学
物質創成科学領域 准教授 石河 泰明



下記のとおり会計監査を実施したので報告する。

記

日 時： 平成30年11月8日（木） 10:00 - 10:10

場 所： 奈良先端科学技術大学院大学 物質創成科学領域 石河准教授室

対 象： 会計報告（平成29年4月1日～平成30年3月31日）

結 果： 監査の結果、前回、平成29年11月12日開催の同窓会総会で行われた、平成28年4月1日から平成29年3月31日までの監査結果報告後、平成30年3月31日までに発生した金銭の授受・引き出しは、以下（1）～（4）のとおりである。

- （1）平成29年11月12日に開催されたホームカミングデー懇親会開催の費用（23,220円）の支出。
- （2）平成29年11月1日に開催された第23回駅伝大会（吉川杯）表彰者に対する副賞の費用（13,756円）の支出。
- （3）ゆうちょ銀行残高照会費用（514円）の支出。
- （4）同窓会口座預金利息（南都銀行分36円）の収入。

※ 帳簿・領収書と収支報告書の金額は一致していることから、監査完了とした。

平成30年3月31日現在

平成29年度 奈良先端科学技術大学院大学同窓会 収支報告書

平成29年度収支報告（平成29年4月1日～平成30年3月31日）

1. 収入の部

南都銀行口座 預金利息収入			36 円
（内訳）			
平成29年 8月21日 利息	<証憑番号 4>	18 円	
平成30年 2月19日 利息	<証憑番号 4>	18 円	
前年度からの繰越金			6,994,026 円
（内訳）	※前年度収支報告書による		
南都銀行	（普通預金）	4,324,497 円	
ゆうちょ銀行	（振替口座）	2,669,529 円	
収入合計			6,994,062 円

2. 支出の部

【事業支出】

ホームカミングデー懇親会開催費用（平成29年11月12日開催）
<証憑番号1> 23,220 円 23,220 円

第23回駅伝大会（吉川杯）表彰者に対する副賞（賞金）（平成29年11月1日開催）
<証憑番号2> 13,000 円 13,000 円

第23回駅伝大会（吉川杯）表彰者に対する副賞（祝儀袋）（平成29年11月1日開催）
<証憑番号2> 756 円 756 円

【事務的支出】

ゆうちょ銀行残高照会費用 <証憑番号3> 514 円 514 円

支出合計 37,490 円

3. 現在金額（平成29年3月31日現在）

収入（ 6,994,062 円）－ 支出（ 37,490 円） 6,956,572 円

（内訳）

南都銀行口座残高 <証憑番号 4> 4,287,557 円

ゆうちょ銀行口座残高 <証憑番号 5> 2,669,015 円

次期役員(案)

	氏 名	所属・修了年度	任期区分
会長	きよかわ きよし 清川 清	情報 H10年度修了	任期中
副会長	こばやし みめ 小林 未明	バイオ H10年度修了	任期中
	いのうえ あきひさ 井上 明久	物質 H11年度修了	任期中
理事	かんばら まさゆき 神原 誠之	情報 H13年度修了	再 任
	あきさだ もりと 秋貞 盛人	バイオ H12年度修了	任期中
	うえおか よしひろ 上岡 義弘	物質 H25年度修了	任期中
監査	いしかわ やすあき 石河 泰明	物質 H14年度修了	任期中
	らうら がいにびな くら Raula Gaikovina Kula	情報 H24年度修了	任期中
顧問	かきうち きよみ 垣内 喜代三	本学理事・副学長	任期中
	こまい しょうじ 駒井 章治	バイオ H11年度修了	任期中

奈良先端科学技術大学院大学同窓会会則 <抜粋>

2010年11月13日改定

第4章 役員及び職員

第5条 本会に次の役員を置く。

- (1)会長 1名
- (2)副会長 2名
- (3)理事 若干名
- (4)監査 2名
- (5)顧問 若干名

第6条 役員は次により選出する。

- (1)会長 正会員のなかから理事会が推薦し、総会で承認された者
- (2)副会長 正会員のなかから理事会が推薦し、総会で承認された者
- (3)理事 会長及び副会長が推薦し、総会で承認された者
- (4)監査 会長が推薦し、理事会で承認された者
- (5)顧問 理事が推薦し、会長が承認した者

2 会長及び副会長は、理事を兼ねる。

第7条 会長、副会長、理事、監査及び顧問の任期は2年とする。ただし、再任は妨げない。

2 役員に欠員を生じた場合には、理事会において選出し、その任期は残存期間とする。

第8条 会長は、本会を代表し会務を総括する。

2 副会長は、会長を補佐し、会長に事故あるときは、副会長のうちの1人がその職務を代理する。

3 理事は、会務を処理する。

4 監査は、会務を監査する。

5 顧問は、会の運営について、会長、副会長及び理事の相談に応じ、また助言を行うことができる。

現役員

	氏 名	所属・修了年度
会長	きよかわ きよし 清川 清	情報 H10年度修了
副会長	こばやし みめ 小林 未明	バイオ H10年度修了
	いのうえ あきひさ 井上 明久	物質 H11年度修了
理事	かんばら まさゆき 神原 誠之	情報 H13年度修了
	あきさだ もりと 秋貞 盛人	バイオ H12年度修了
	うえおか よしひろ 上岡 義弘	物質 H25年度修了
監査	いしかわ やすあき 石河 泰明	物質 H14年度修了
	らうら がいこびな くら Raula Gaikovina Kula	情報 H24年度修了
顧問	かきうち きよみ 垣内 喜代三	本学理事・副学長
	こまい しょうじ 駒井 章治	バイオ H11年度修了

奈良先端科学技術大学院大学同窓会会則 <抜粋>

2010年11月13日改定

第4章 役員及び職員

第5条 本会に次の役員を置く。

- (1)会長 1名
- (2)副会長 2名
- (3)理事 若干名
- (4)監査 2名
- (5)顧問 若干名

第6条 役員は次により選出する。

- (1)会長 正会員のなかから理事会が推薦し、総会で承認された者
- (2)副会長 正会員のなかから理事会が推薦し、総会で承認された者
- (3)理事 会長及び副会長が推薦し、総会で承認された者
- (4)監査 会長が推薦し、理事会で承認された者
- (5)顧問 理事が推薦し、会長が承認した者

2 会長及び副会長は、理事を兼ねる。

第7条 会長、副会長、理事、監査及び顧問の任期は2年とする。ただし、再任は妨げない。

2 役員に欠員を生じた場合には、理事会において選出し、その任期は残存期間とする。

第8条 会長は、本会を代表し会務を総括する。

2 副会長は、会長を補佐し、会長に事故あるときは、副会長のうちの1人がその職務を代理する。

3 理事は、会務を処理する。

4 監査は、会務を監査する。

5 顧問は、会の運営について、会長、副会長及び理事の相談に応じ、また助言を行うことができる。

同窓会活動の活性化について

文責 会長 清川 清 (情報 H10 年度修了)

■1. 経緯等

本会は、会員相互の親睦を図り、併せて奈良先端科学技術大学院大学（以下、NAIST）建学の目的及び使命の達成に寄与することを目的としています。規模の小さい NAIST は、会員相互の交流と連携を深め、結束することが特に重要です。しかし、率直に申し上げてこれまで必ずしも活発な活動ができてこなかったことも事実です。

本年創立 27 周年を迎えた NAIST は、情報科学、バイオサイエンス、物質創成科学の 3 研究科を統合し、1 研究科体制への組織改革を行いました。同窓会のこれまでの活動を全面的に見直し、改革を進める好機です。そこで、昨年の総会から約 1 年間、役員のみならずおよび NAIST 教育支援課学生支援係をはじめとする大学関係者の方々と、本会活性化の方針について議論を重ねて参りました。

大まかな方針について、ぜひご賛同いただき、詳細については本会役員に一任いただければと思います。また、ご意見、改善案などございましたら、ぜひお寄せください。皆様の方で活性化を実現したいと思います。

■2. 活性化の方針（案）

現在、2019 年 4 月の本格スタートを目標に、下記の活性化方針を検討しています。

1) 事務局の設置

NAIST 事務の支援に依存している現状から脱し、本会が任意団体として独自に事務局を設置します。事務局は、NAIST 事務と連携し、2) 以下の各項目の実務を担います。当面は本会役員を中心とするボランティアベースでの活動を継続しますが、事務員の雇用について検討を進め、早期の実現を目指します。

2) 情報発信の強化

本会ウェブサイトについては、デザインを一新し、見やすく、編集しやすい CMS（コンテンツ管理システム）ベースのものに切り替えます。本会ウェブサイトや SNS での情報発信は日英両言語併記を基本とし、国際化も図ります。その際、費用と品質のバランスを考慮し必要に応じて翻訳業務の外注も活用します。

3) 会員管理システムの導入

実績のある会員管理用の商用サービス (PalSyne) を導入し、サービスを拡充します (■3 参照)。これにより、例えば、柔軟な会員検索、寄付やイベント参加費のクレジット決済などが可能になります。

4) 同窓会組織の強化

在学中から同窓会に親しむべきとの考えから、原則として入学時に入会を呼びかけ、会費を納入した時点で在学中でも会員になれるように会則を改正します (■4 参照)。また、旧・現教員を通じて研究室単位で協力を呼びかけ過去に遡って加入率の向上を図ります。さらに、海外の同窓会組織の代表者との協力も進めます。

5) その他のさまざまな活動支援の推進

その他のさまざまな活動支援を検討し、積極的に推進していきます。例として、会員が開催する同窓会集会への資金援助 (■5 参照) や、ホームカミングデーでの講師招聘 (2019 年度より実施予定) があります。

6) 会費徴収の徹底

一時中断していた本会会費 2 万円 (永年会費) の徴収を再開し、これを原資として上記のさまざまな活動を実現するための事業を推進します。(■6 参照)

■3. 会員管理システム PalSyne について

- ・ワンネットシステム（株）の同窓会会員管理に特化したクラウドソリューション (<https://palsyne.com/>)
- ・旧バージョンを含めて東大, 京大, 阪大の学部同窓会など 50 以上の導入実績
- ・初期導入費用 200~250 万円, 年額利用料・保守費 489,720 円 (税込)
- ・機能や費用の概要を以下に掲載しますが詳しくはウェブをご覧ください

■4. 会則の改正について

原則として入学時に会費を納入することとし、在籍時から入会できるよう、以下の2点について会則の改正が必要です。なお、具体的な表現や文言については、大学の事務局とも相談しながら整えていきます。

①第4条（1）正会員において：

【現 行】奈良先端科学技術大学院大学を修了した者、または奈良先端科学技術大学院大学に在籍したことがあり正会員の推薦を得た者

【改正案】奈良先端科学技術大学院大学を修了した者、または奈良先端科学技術大学院大学に在籍中または在籍したことがあり入会の届け出をし、理事会で承認された者

②第15条において：

【現 行】会費は、正会員になると同時に納入するものとする。

【改正案】会費は、原則として奈良先端科学技術大学院大学入学時に納入するものとする。

■5. 同窓会開催支援について

現在、下記の要領で同窓会開催支援を実施しています。

支援条件：

- ・10名以上が参加する会であること
- ・公序良俗に反しない会であること
- ・参加者に対して NAIST 同窓会からの援助があることを周知すること
- ・会の終了後1週間以内に 1) 名簿（氏名・修了年）、2) 300字程度の報告および 3) 集合写真1枚(JPG等の電子ファイル)を提出すること。

支援金額：

- ・参加会員1名につき2,000円、総額で100,000円を上限とする。
- ・応募者多数の場合など、希望に添えない場合がある。

===== 応募様式 =====

代表者氏名・修了年・出身研究科（領域）：

開催予定日時：

開催内容：

支援希望額・使途：

参加予定者氏名・修了年・出身研究科（領域）：

=====

■6. 予算案について

新入生の加入率が70%、80%、90%の場合の予算案を示します。いずれの場合も、週2日の事務員雇用、総会講師の招聘、10万円×30回以上の同窓会開催支援などを実現でき、安定的に大幅な活性化が可能です。

(※2019年度は会員管理システムの新規導入費用が別途必要)

収入の部

	単価	員数	計	加入率	計	加入率	計	加入率
終身会費(修士からの入学者)	20000	350	4900000	0.7	5600000	0.8	6300000	0.9
終身会費(博士からの入学者)(*)	20000	30	420000	0.7	480000	0.8	540000	0.9
寄付	10000	10	100000		100000		100000	
合計			5420000		6180000		6940000	

支出の部

	単価	員数	計	員数	計	員数	計
同窓会会員管理システム	40810	12	489720	12	489720	12	489720
ウェブページハウジング・保守	2200	12	26400	12	26400	12	26400
事務員雇用費	100000	12	1200000	12	1200000	12	1200000
ホームカミングデー懇親会飲食費	150000	1	150000	1	150000	1	150000
ホームカミングデー講師招聘旅費・謝金	100000	1	100000	1	100000	1	100000
同窓会開催支援費	100000	30	3000000	35	3500000	40	4000000
予備費(ウェブ更新, 翻訳, 積立てなど)	190280	1	320280	1	400280	1	480280
合計			5286400		5866400		6446400

収支 133600 313600 493600

(*) 博士後期課程からの入学者は過去年間 40~50 名

平成27年度 117名(学内 63名)

平成28年度 101名(学内 49名)

平成29年度 88名(学内 50名)

■7. NAIST ネットとの関係について

本学の終身メールアドレスサービスを展開するために、現在 NAIST ネットが運営されています(<https://lifetime.naist.jp/ja/>)。名簿登録や修了生の検索などが可能であり、本会で導入予定の会員管理システムと一部機能が重複します。

ですが、個人情報保護法などの観点から NAIST ネットに登録済みの個人情報は会員個々の同意を得ない限り本会の会員管理システムに移行できません。また、メール転送機能の移行は、NAIST 総合情報基盤センターなどとの調整が必要です。ですので、大変ご不便をお掛けしますが、当面は以下の二重運用となる見込みです。

- 1) 初期登録は、まず NAIST ネットに登録の終身メールアドレスに対して、本会会員管理システムへの登録案内を送信し、その後、**個々の会員が自ら本会会員管理システムに新規登録**する。
- 2) 登録後は、本会会員管理システムにて住所や勤務先などの名簿情報を登録・更新する。ただし、当面は**実際にメール転送がなされるのは NAIST ネットに登録されたメールアドレス**となる。

本会会員管理システムと NAIST ネットの一本化については、後者の登録者の多くが前者に登録を済ませた後に、NAIST 総合情報基盤センターなどの関係者と協議をしながら進めて参ります。

以上

奈良先端科学技術大学院大学同窓会について（経緯）

経 緯

- 平成 7年 2月 第1期生の修了を控え、修了生と大学、また修了生相互の連携を図るため、大学主導で同窓会設立に向けた検討開始
- 平成12年 3月 同窓会を設立（学生課が事務支援）
城和貴氏（現・奈良女子大学教授）を会長とし、評議員等の役員24名を選出
- 平成13年 9月 同窓会運営を同窓会役員に移行
- 平成16年 4月 国立大学法人化
中期計画において、同窓会支援体制整備を明記
- 平成19年 4月 城同窓会会長及び学内に在籍する修了生3名を中心に、同窓会の再構築に向けて検討を開始（学生課が事務支援）
- 平成20年 3月 設立からの収支報告書を作成し、監査を実施
- 平成21年10月 学内に在籍する修了生6名を中心に、W. Gを設置し、現会長及び評議員の了承を得て、組織の見直しを検討（学生課が事務支援）
- 平成22年 4月 第2期中期計画において、修了生とのネットワークの充実を明記
- 平成22年 7月 学内に在籍する修了生3名が、新たなW. G委員として加わる。
- 平成22年11月 同窓会総会及び同窓会パーティーを開催
- 平成23年10月 同窓会総会及び同窓会パーティーを開催
- 平成24年11月 同窓会総会及び同窓会パーティーを開催
修了生の高橋 和利さんに対し、同窓会栄誉賞を表彰
- 平成25年10月 同窓会総会及び東京リユニオン（同窓会パーティー）を開催
- 平成26年12月 同窓会総会を開催
- 平成27年11月 同窓会総会を開催
- 平成28年11月 ホームカミングデーを開催
- 平成29年11月 ホームカミングデーを開催
- 平成30年 2月 同窓会理事会を開催
- 平成30年 5月 同窓会理事会・総会を開催
- 平成30年 8月 同窓会理事会を開催

奈良先端科学技術大学院大学同窓会会則

2010年11月13日改定

第1章 総則

第1条 本会は、奈良先端科学技術大学院大学同窓会と称し、本部を奈良先端科学技術大学院大学内に置く。

第2章 目的及び事業

第2条 本会は、会員相互の親睦を図り、併せて奈良先端科学技術大学院大学(以下、大学という。)建学の目的及び使命の達成に寄与することを目的とする。

第3条 本会は、前条の目的を達成するために次の事業を行う。

- (1) 会員相互の親睦
- (2) 大学の教育・研究活動の支援
- (3) 会員名簿の管理及び会誌の発行
- (4) その他本会の目的の達成に必要な事業

第3章 会員

第4条 本会の会員は、次に掲げる正会員、特別会員及び賛助会員とする。

(1) 正会員

奈良先端科学技術大学院大学を修了した者、または奈良先端科学技術大学院大学に在学したことがあり正会員の推薦を得た者

(2) 特別会員

大学の教職員(退職者を含む。)及び正会員の推薦により理事会で承認された者

(3) 賛助会員

本会の目的に賛成し、本会に対し多大の援助をした法人又は個人で、正会員の推薦により理事会で承認された者

第4章 役員及び職員

第5条 本会に次の役員を置く。

- (1) 会長 1名
- (2) 副会長 2名
- (3) 理事 若干名
- (4) 監査 2名
- (5) 顧問 若干名

第6条 役員は次により選出する。

- (1) 会長 正会員のなかから理事会が推薦し、総会で承認された者
- (2) 副会長 正会員のなかから理事会が推薦し、総会で承認された者
- (3) 理事 会長及び副会長が推薦し、総会で承認された者
- (4) 監査 会長が推薦し、理事会で承認された者
- (5) 顧問 理事が推薦し、会長が承認した者

2 会長及び副会長は、理事を兼ねる。

第7条 会長、副会長、理事、監査及び顧問の任期は2年とする。ただし、再任は妨げない。

2 役員に欠員を生じた場合には、理事会において選出し、その任期は残存期間とする。

第8条 会長は、本会を代表し会務を総括する。

- 2 副会長は、会長を補佐し、会長に事故あるときは、副会長のうちの1人がその職務を代理する。
- 3 理事は、会務を処理する。
- 4 監査は、会務を監査する。
- 5 顧問は、会の運営について、会長、副会長及び理事の相談に応じ、また助言を行うことができる。

第5章 会議

第9条 本会の会議は総会及び理事会とする。

第10条 総会は、全正会員で構成し、会長が必要と認めるとき、会長が招集する。

2 総会は、2週間前までに議案、日時、場所を公示し、会長が招集する。

3 総会は、必要に応じて電子会議で開くことができる。

4 総会は、次の事項について決議する。

(1) 予算の決定及び決算の承認

(2) 会の運営方針及び会則の制定改廃

(3) 会長、副会長及び理事の選出

(4) その他

5 総会の議事は、出席会員の過半数をもって決する。可否同数のときは議長がこれを決する。

第11条 理事会は、会長、副会長、理事で構成し、本会の予算、決算、及びその他本会の運営に関する重要事項を審議する。また本会の運営に関して企画、立案し及びその業務を執行する。

2 監査及び顧問は、会長が意見・助言を求める必要がある場合は、参加することができる。

第12条 理事会は、それぞれの構成員からの要請により会長が必要と認めるとき、随時開催することができる。

2 理事会は、過半数の出席を必要とし、出席できないときは、委任状により議決を委任することができる。

第6章 経費

第13条 本会の経費は、会費、寄付金及びその他の収入をもって充てる。

第7章 会計

第14条 会費は、永年会費として2万円とする。

第15条 会費は、正会員になると同時に納入するものとする。

第16条 納入した会費は、原則として返還しない。

第17条 寄付金は、理事会の承認により受領することができる。

第18条 本会の会計年度は、4月1日から翌年の3月31日までとする。

第19条 本会の会計の決算は、毎年度監査を受けた後、総会の承認を得なければならない。

第8章 改廃

第20条 会則の改廃は、総会において、出席正会員の3分の2以上の賛成を必要とする。

附 則

この会則は、平成22年11月13日から施行する。